

共同利用・共同研究成果発表会

日時：平成 30 年 3 月 1 日 (木) 13:00 ~ 18:00

平成 30 年 3 月 2 日 (金) 9:30 ~ 14:35

会場：高知大学 海洋コア総合研究センター セミナー室

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通じ、地球環境変動の要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的として設立された共同利用研究施設です。この成果発表会は、広く全国の皆様に今年度の研究成果をご紹介します。

3月1日(木)

13:00-13:10 開会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一

共同利用・共同研究拠点課題選定委員会委員長 国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門 首席研究員 池原 研

13:10-14:25 (座長:池原 実)

O-01「ビリミアン帯に残される22億年前の島弧性オフィオライトセクションと海底層序:ケープスリーポイントセクション,西ガーナ」清川 昌一(九州大学)

O-02「32億年前の西オーストラリア・ビルバラ地域の環境復元」三木 翼(九州大学)

O-03「古生代の硫黄・炭素同位体変動と海洋環境:ケープスミス帯」元村 健人(九州大学)

O-04「薩摩硫黄島・長浜湾における海底環境長期変動記録(トラップコアに残される10年間の記録)」酒本 直弥(九州大学)

O-05「KH-13-5で採取された八丈島沖のイベント堆積物」川村 喜一郎(山口大学)

14:40-15:55 (座長:氏家 由利香)

O-06「Dating the N7/N8 planktonic foraminiferal zonal boundary」星 博幸(愛知教育大学)

O-07「ベーリング海IODP323次掘削コアU1343およびU1344に介在する第四紀テフラの岩石学的特徴と層序」青木 かおり(立正大学)

O-08「ITRAXを用いた日本海における過去70万年間の炭酸塩補償深度変動の高解像度連続復元」三武 司(東京大学)

O-09「北西太平洋地域におけるMatuyama-Brunhes境界付近の古海洋変動」紫谷 築(島根大学)

O-10「中期更新世初期,北半球大西洋-太平洋の千年スケールの気候テレコネクション」兵頭 政幸(神戸大学)

16:00-18:00 ポスター発表:概要紹介,引き続いてコアタイム(座長:山口 龍彦)

P-01「温泉水の希土類元素パターンに対する再検討」堀 真子(大阪教育大学)

P-02「海底熱水性硫酸塩鉱物の放射非平衡年代測定」豊田 新(岡山理科大学)

P-03「深海底マイクロプラスチック年代決定論」川村 喜一郎(山口大学)

P-04「地震性泥質タービダイトを用いた地震履歴推定の試み」奥津 なつみ(東京大学)

P-05「日本海新潟沖で発見された円錐台地形が泥火山なのか判断する」蛭田 明宏(明治大学)

P-06「日本海水深500メートル付近の底生有孔虫の酸素同位体比の変化」蛭田 明宏(明治大学)

P-07「貝形虫殻の酸素同位体比に基づく過去2800年間の東アジアモンスーン変動」小原 一馬(信州大学)

P-08「チリ沖海底堆積物を用いた南半球の気候変動復元:予察的研究で見えてきたこと」長島 佳菜(海洋研究開発機構)

P-09「サンゴ骨格中の $\delta^{18}O$ とSr/Ca比によるジャワ海の海洋環境復元と気候変動との関係」源田 亜衣(岡山大学)

P-10「Using stable isotope composition of benthic foraminifera and sediment geochemistry to infer past methane release from Holocene cold seeps of Hidaka Trough, northwestern Pacific」Saeidi Ortakand M. (Meiji University)

P-11「後期鮮新世の日本海表層~中層域の古水温変動」山田 桂(信州大学)

P-12「日本海の堆積物の地球化学分析から探るアジアのモンスーン気候の変遷」増田 沙恵佳(東邦大学)

P-13「瀬戸内区における中新統・鮮新統の古風化史:古土壌相・化学風化強度・粘土鉱物組成を指標として」葉田野 希(信州大学)

P-14「始新世後期のメキシコ湾岸の表層水塊の挙動」山口 龍彦(高知大学)

P-15「IODP Exp. 364 “Chicxulub Impact Crater” の暁新世~中新世の炭酸塩岩の炭素・酸素同位体の地球化学」小椋 千尋(東邦大学)

P-16「モンゴル年縞湖成層のXRFコアスキャナー分析から読み解く白亜紀の千年周期気候変動と太陽活動の気候影響」長谷川 精(高知大学)

P-17「西オーストラリア・クリバービル層の約32億年前の堆積岩の地球化学」藤田 沙織(東邦大学)

P-18「IODP Site U1490 の古地磁気層序 Magnetostatigraphy of IODP Site U1490」熊谷 祐穂(東北大学)

P-19「Paleointensity variation at 30 Ma obtained from Ethiopian Large Igneous Province (LIP)」Yutaka Yoshimura (The University of Tokyo)

P-20「富士火山,青木ヶ原溶岩流の古地磁気学的研究」馬場 章(山梨県富士山科学研究所)

P-21「表層型ガスハイドレート産出域堆積物の磁気特性」下野 貴也(明治大学)

P-22「Rock magnetic characterization of bedded chert sequences: a step towards building a model of bedded chert formation.」Alexandra Abrajevitch (Ehime University)

P-23「丹波帯篠山地域に分布する石炭系~ペルム系層状チャートから得られた古地磁気層序」山下 大輔(熊本大学)

3月2日(金)

9:30-10:30 (座長:岩井 雅夫)

O-11「鉱物情報に着目した科学捜査試料の新規異同識別法の開発」西脇 芳典(高知大学)

O-12「導電染色および樹脂包埋した底生有孔虫細胞質の立体構造観察」野牧 秀隆(海洋研究開発機構)

O-13「含水堆積物コアの非破壊XRF強度における含水率の影響と補正」勝田 長貴(岐阜大学)

O-14「東京湾岸埋立地北部での2011年東北地方太平洋沖地震時における液状化-流動化層準と沖積層の影響について」風岡 修(千葉県環境研究センター)

10:45-11:45 (座長:浦本 豪一郎)

O-15「デボン紀肉鰭類Eusthenopteron foodiの歯の組織と歯の支持様式」三島 弘幸(鶴見大学)

O-16「地球化学的手法に基づく四万十帯延岡衝上断層における流体移動の解析」長谷川 亮太(東京大学)

O-17「日本海溝に沈み込む遠洋性堆積物の不均質分布とプレート境界断層浅部のすべり伝播」山口 飛鳥(東京大学)

O-18「海底堆積物中のイベント層を用いた地震発生履歴解明に向けたイベント層の認定の現状と課題」池原 研(産業技術総合研究所)

11:45-13:15 昼休み

13:15-14:30 (座長:山本 裕二)

O-19「白亜紀入遠野花崗岩から分離した鉱物単結晶の岩石磁気及び古地磁気強度実験」加藤 千恵(東京工業大学)

O-20「遠洋性堆積物中の石英・長石粒子の磁気インクルージョン分析」臼井 洋一(海洋研究開発機構)

O-21「還元化学消磁による堆積岩中の磁性鉱物の変化と磁気層序(予察)-熱消磁時CRMの抑制について-」穴井 千里(熊本大学)

O-22「琵琶湖堆積物の高分解能古地磁気測定」小田 啓邦(産業技術総合研究所)

O-23「別府湾海底堆積物から得られた古地磁気永年変化の記録」林田 明(同志社大学)

14:30-14:35 閉会挨拶

高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫

平成 29 年度高知大学海洋コア総合研究センター
共同利用・共同研究成果発表会
プログラム

3 月 1 日 (木)

13:00- 13:10

開会挨拶

- 高知大学 海洋コア総合研究センター長 徳山 英一
- 共同利用・共同研究拠点課題選定委員会委員長
国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質情報研究部門 首席研究員 池原 研

13:10-14:25 (座長：池原 実)

- O-01 「ビリミアン帯に残される 22 億年前の島弧性オフィオライトセクションと海底層序：ケープスリーポイントセクション，西ガーナ」
清川 昌一，吉丸 慧（九州大学）
- O-02 「32 億年前の西オーストラリア・ピルバラ地域の環境復元」
三木 翼，清川 昌一（九州大学），池原 実（高知大学），佐野 有司（東京大学）
- O-03 「古原生代の硫黄・炭素同位体変動と海洋環境：ケープスミス帯」
元村 健人，清川 昌一（九州大学），池原 実（高知大学），田中 健太郎，佐野 有司（東京大学）
- O-04 「薩摩硫黄島・長浜湾における海底環境長期変動記録（トラップコアに残される 10 年間の記録）」
酒本 直弥，清川 昌一（九州大学）
- O-05 「KH-13-5 で採取された八丈島沖のイベント堆積物」
森王 祐至，川村 喜一郎（山口大学）

14:40-15:55 (座長：氏家 由利香)

- O-06 「Dating the N7/N8 planktonic foraminiferal zonal boundary」
星 博幸（愛知教育大学），大信田 彦磨（愛知教育大学・現在 愛知県立海翔高校），
林 広樹（島根大学），岩野 英樹，檀原 徹（京都フィッシュン・トラック），
栗原 行人（三重大学），柳沢 幸夫（産業技術総合研究所）
- O-07 「ベーリング海 IODP323 次掘削コア U1343 および U1344 に介在する第四紀テフラの岩石学的特徴と層序」
青木 かおり，長妻 由佳里，栗原 幸太郎，福岡 孝昭（立正大学），飯島 耕一（JAMSTEC），
坂本 竜彦（三重大学）

- O-08 「ITRAX を用いた日本海における過去 70 万年間の炭酸塩補償深度変動の高解像度連続復元」
三武 司, 多田 隆治, 関 有沙, 黒川 駿介 (東京大学), 村山 雅史 (高知大学)
- O-09 「北西太平洋地域における Matuyama-Brunhes 境界付近の古海洋変動」
紫谷 築, 林 広樹 (島根大学), 池原 実 (高知大学)
- O-10 「中期更新世初期, 北半球大西洋-太平洋の千年スケールの気候テレコネクション」
兵頭 政幸, Balázs Bradák (神戸大学), 岡田 誠 (茨城大学), 加藤 茂弘 (兵庫県立人と自然の博物館), 北場 育子 (立命館大学), David L. Dettman (University of Arizona), 林 広樹 (島根大学), 熊澤 亘洋 (神戸大学), 廣瀬 孝太郎 (早稲田大学), 風岡 修 (千葉県環境研究所), 紫谷 築 (島根大学), 北村 晃久 (静岡大学)

16:00-18:00 ポスター発表：概要紹介，引き続きコアタイム（座長：山口 龍彦）

- P-01 「温泉水の希土類元素パターンに対する再検討」
堀 真子 (大阪教育大学)
- P-02 「海底熱水性硫酸塩鉱物の放射非平衡年代測定」
豊田 新, 三ノ上 優里, 藤原 泰誠, 内田 乃 (岡山理科大学), 石橋 純一郎 (九州大学)
- P-03 「深海底マイクロプラスチック年代決定論」
川村 喜一郎, 舟生 圭吾, 森王 祐至, 望月 健太 (山口大学)
- P-04 「地震性泥質タービダイトを用いた地震履歴推定の試み」
奥津 なつみ, 芦 寿一郎, 山口 飛鳥, 中澤 文華 (東京大学), 村山 雅史 (高知大学)
- P-05 「日本海新潟沖で見つかった円錐台地形が泥火山なのか判断する」
蛭田 明宏, 松本 良 (明治大学), 秋葉 文雄 (珪藻ミニラボ)
- P-06 「日本海水深 500 メートル付近の底生有孔虫の酸素同位体比の変化」
蛭田 明宏, 大井 剛志, 松本 良 (明治大学), 秋葉 文雄 (珪藻ミニラボ)
- P-07 「貝形虫殻の酸素同位体比に基づく過去 2800 年間の東アジアモンスーン変動」
小原 一馬, 山田 桂 (信州大学), 池原 実 (高知大学), 黒松 邦至 (信州大学)
- P-08 「チリ沖海底堆積物を用いた南半球の気候変動復元：予察的研究で見えてきたこと」
長島 佳菜, 岩崎 晋弥, 原田 尚美 (海洋研究開発機構), 村山 雅史 (高知大学)
- P-09 「サンゴ骨格中の $\delta^{18}\text{O}$ と Sr/Ca 比によるジャワ海の海洋環境復元と気候変動との関係」
源田 亜衣 (岡山大学), 鈴木 淳 (産業技術総合研究所), 石村 豊穂 (茨城高専), 池原 実 (高知大学), 井上 麻夕里 (岡山大学)
- P-10 「Using stable isotope composition of benthic foraminifera and sediment geochemistry to infer past methane release from Holocene cold seeps of Hidaka Trough, northwestern Pacific」
Saeidi Ortakand M., Shimono T., Matsumoto R. (Meiji University)
- P-11 「後期鮮新世の日本海表層～中層域の古水温変動」
山田 桂 (信州大学)
- P-12 「日本海の堆積物の地球化学分析から探るアジアのモンスーン気候の変遷」
増田 沙恵佳 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学・NASA Astrobiol. Inst.), 山口 飛鳥 (東京大学), 池原 実 (高知大学), 高橋 聡, 多田 隆治 (東京大学)

- P-13 「瀬戸内区における中新統・鮮新統の古風化史：古土壌相・化学風化強度・粘土鉱物組成を指標として」
葉田野 希, 吉田 孝紀 (信州大学)
- P-14 「始新世後期のメキシコ湾岸の表層水塊の挙動」
山口 龍彦 (高知大学), 佐川 拓也 (金沢大学), Tom Dunkley Jones (University of Birmingham, UK), Richard D. Norris (University of California, San Diego, USA), Bridget S. Wade (University College London, UK), 村山 雅史 (高知大学)
- P-15 「IODP Exp. 364 “Chicxulub Impact Crater” の暁新世～中新世の炭酸塩岩の炭素・酸素同位体の地球化学」
小椋 千尋 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学・NASA Astrobiol. Inst.), 池原 実 (高知大学)
- P-16 「モンゴル年縞湖成層の XRF コアスキャナー分析から読み解く白亜紀の千年周期気候変動と太陽活動の気候影響」
長谷川 精, 村山 雅史 (高知大学), 村木 綏 (名古屋大学), 勝田 長貴 (岐阜大学), 安藤 寿男 (茨城大学)
- P-17 「西オーストラリア・クリバービル層の約 32 億年前の堆積岩の地球化学」
藤田 沙織 (東邦大学), 山口 耕生 (東邦大学・NASA Astrobiol. Inst.), 阿部 剛 (財団法人日本分析センター), 山口 飛鳥 (東京大学), 奈良岡 浩 (九州大学), 池原 実 (高知大学), 清川 昌一 (九州大学), 伊藤 孝 (茨城大学)
- P-18 「IODP Site U1490 の古地磁気層序 Magnetostratigraphy of IODP Site U1490」
熊谷 祐穂, 中村 教博 (東北大学), 山崎 俊嗣 (東京大学)
- P-19 「Paleointensity variation at 30 Ma obtained from Ethiopian Large Igneous Province (LIP)」
Yutaka Yoshimura, Toshitsugu Yamasaki (The University of Tokyo), Yuhji Yamamoto (Kochi University), Hyeon-seon Ahn (Gyeongsang National University), Tesfaye Kidane (University of KwaZulu Natal), Yo-ichiro Otofujii (Japan geochronology network), Naoto Ishikawa (Kyoto University)
- P-20 「富士火山, 青木ヶ原溶岩流の古地磁気学的研究」
馬場 章 (山梨県富士山科学研究所), 渋谷 秀敏 (熊本大学)
- P-21 「表層型ガスハイドレート産出域堆積物の磁気特性」
下野 貴也 (明治大学)
- P-22 「Rock magnetic characterization of bedded chert sequences: a step towards building a model of bedded chert formation.」
Alexandra Abrajvitch (Ehime University)
- P-23 「丹波帯篠山地域に分布する石炭系～ペルム系層状チャートから得られた古地磁気層序」
山下 大輔 (熊本大学)

18:00-20:00 交流会

3月2日（金）

9:30-10:30（座長：岩井 雅夫）

O-11 「鉱物情報に着目した科学捜査試料の新規異同識別法の開発」

西脇 芳典（高知大学）

O-12 「導電染色および樹脂包埋した底生有孔虫細胞質の立体構造観察」

野牧 秀隆（海洋研究開発機構）

O-13 「含水堆積物コアの非破壊 XRF 強度における含水率の影響と補正」

勝田 長貴（岐阜大学）

O-14 「東京湾岸埋立地北部での 2011 年東北地方太平洋沖地震時における液状化—流動化層準と沖積層の影響について」

風岡 修, 潮崎 翔一, 八武崎 寿史, 荻津 達, 吉田 剛, 香川 淳（千葉県環境研究センター）,
宇澤 政晃, 檜山 知代（関東建設株式会社）

10:45-11:45（座長：浦本 豪一郎）

O-15 「デボン紀肉鰭類 *Eusthenopteron foodi* の歯の組織と歯の支持様式」

三島 弘幸（鶴見大学）, 見明 康雄（東京歯科大学）, 笹川 一郎（日本歯科大学）,
笥 光夫（元 明海大学）

O-16 「地球化学的手法に基づく四万十帯延岡衝上断層における流体移動の解析」

長谷川 亮太, 山口 飛鳥（東京大学）, 福地 里菜, 濱田 洋平（海洋研究開発機構）, 北村 有迅
（鹿児島大学）, 木村 学（東京海洋大学）, 芦 寿一郎（東京大学）, 石川 剛志（海洋研究開発機構）

O-17 「日本海溝に沈み込む遠洋性堆積物の不均質分布とプレート境界断層浅部のすべり伝播」

山口 飛鳥（東京大学）, 中村 恭之, 福地 里菜（海洋研究開発機構）, 倉野 紘彰（東京大学）,
池原 研（産業技術研究所）, 金松 敏也（海洋研究開発機構）, 新井 和乃（高知大学）, 宇佐見 和子,
芦 寿一郎（東京大学）

O-18 「海底堆積物中のイベント層を用いた地震発生履歴解明に向けたイベント層の認定の現状と課題」

池原 研（産業技術総合研究所）

11:45-13:15 昼休み

13:15-14:30 (座長：山本 裕二)

- O-19 「白亜紀入遠野花崗岩から分離した鉍物単結晶の岩石磁気及び古地磁気強度実験」
加藤 千恵 (東京工業大学), 佐藤 雅彦 (東京大学), 山本 裕二 (高知大学), 綱川 秀夫 (東京工業大学), Joseph L. Kirschvink (カリフォルニア工科大学・東京工業大学)
- O-20 「遠洋性堆積物中の石英・長石粒子の磁気インクルージョン分析」
臼井 洋一 (海洋研究開発機構), 下野 貴也 (明治大学), 山崎 俊嗣 (東京大学)
- O-21 「還元化学消磁による堆積岩中の磁性鉍物の変化と磁気層序 (予察)
—熱消磁時 CRM の抑制について—」
渋谷 秀敏, 望月 伸竜, 橋本 拓朗, 穴井 千里 (熊本大学)
- O-22 「琵琶湖堆積物の高分解能古地磁気測定」
小田 啓邦 (産業技術総合研究所), 山本 裕二 (高知大学), 井内 美郎 (早稲田大学)
- O-23 「別府湾海底堆積物から得られた古地磁気永年変化の記録」
林田 明, 安樂 和央 (同志社大学), 大野 正夫 (九州大学), 加 三千宣 (愛媛大学), 竹村 恵二 (京都大学)

14:30-14:35

閉会挨拶

- 高知大学 海洋コア総合研究センター 副センター長 岩井 雅夫

* 共同利用・共同研究は、国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC) の協力を得て実施されています。

学生優秀発表賞

学生による15件の成果発表を対象に、発表会当日に参加研究者16名の協力を募って審査を行いました。平成30年4月4日の海洋コア総合研究センター教員会議で審査結果を確認し、「学生優秀発表賞」としてセンター長名で下記の3件の優秀な研究発表を顕彰することを決定しました。

紫谷 築(島根大学)

「北西太平洋地域におけるMatuyama-Brunhes境界付近の古海洋変動」

葉田野 希(信州大学)

「瀬戸内区における中新統・鮮新統の古風化史:古土壌相・化学風化強度・粘土鉱物組成を指標として」

長谷川 亮太(東京大学)

「地球化学的手法に基づく延岡衝上断層における流体移動の解析」